

校長室より

令和2年5月26日
校長 植野 博之

5月25日（月）より、分散登校もはじまり、子供たちが元気に学校に登校する姿が何より嬉しく思います。

3月、4月、5月と新型コロナウイルス感染対策で学校へ登校できずに、家庭での自粛生活が続きました。長い臨時休業にもかかわらず、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

みはま支援学校では、先生たちも子供たちが学校へ来てくれる日を楽しみに、様々な準備を進めてきました。子供たちの達成感のある笑顔を想像して、いろんな教材を作ったり、勉強したり、また二学部児童生徒にはオンライン授業へ向けて準備を進めてきました。

家庭のご協力のもと、臨時休業中に学校と家庭が遠隔授業の一環として、ズームで繋がり、パソコンやスマホ、タブレットの画面を通してクラス会をしました。

学校では見られなかった子供たちの新たな一面もこのオンライン授業では、気づくことができたそうです。機械の操作などもすぐにマスターしたと先生達も感心してました。画面を通して、家庭での様子を話しあったり、課題の確認したり、学校と家庭が繋がることができました。

初めてズームで、学校と家庭が繋がり、互いに顔が見れた時に、みんなとても感激したようです。少し困難な作業を同じ目的で子供と先生と一緒に成し遂げた時、達成感と共感が生まれます。これからの学校生活でも子供、教職員、保護者と共に「達成感と共感」を大切にしていきたいです。

まだまだ新型コロナ感染症対策への油断は禁物で、これからもコロナと共に生活をする覚悟は必要です。新しい生活様式の基、1人1人が気をつけて登下校時、学校生活、家庭生活を過ごしましょう！。学校でも毎日教室や手すり等消毒していきます。

また児童生徒の皆さんも、久しぶりの学校生活です。生活リズムを取り戻していくためにもあせらず、ゆっくり、ゆっくりと体と心を慣らしていきましょう。

オンライン授業の様子

